



NISHI EYE HOSPITAL

西眼科だより 第16巻3号

(季刊誌)

2014年8月発行

編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉 <http://www.nishi-ganka.or.jp>



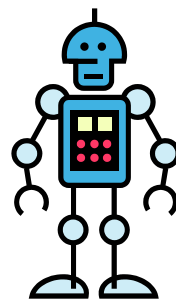
最新の硝子体手術

最新の硝子体手術の器械 **コンステレーション**を導入して4年になります。カッタースピードが5000回転/分になった結果、組織をより安全に切除できるようになりました。

25ゲージ硝子体手術(小口径硝子体手術)

25ゲージ(0.5mm)とは硝子体を切除する器具の太さを表す単位です。従来、もっと太い23ゲージ(0.72mm)や20ゲージ(0.9mm)で手術されていました。この25ゲージ硝子体手術の特徴は、カッターの径が小さいため、切開創を短時間で作成でき、また切開創の工夫によって創口の縫合が不要なこと、早期に視力が改善すると言われています。これによって術後の異物感や不快感が大幅に減り、回復も早くなりました。入院期間も1~5日(症例により異なりますが)と大幅に短縮されました。

フェムトセカンドレーザー 白内障手術



世界最先端の「フェムトセカンドレーザー白内障手術」を白内障のある方に導入しています。水晶体囊の前面を**真円**に切除する事が可能で、眼内レンズを水晶体囊の中心に固定でき、レンズの偏位や傾きを最小限にする事ができます。水晶体の分割も可能で、超音波乳化のエネルギーを大幅に低減し、眼の負担が少ない方法です。より質の高い良好な視機能が得られます。日本では厚生労働省にまだ承認されておきませんので「自費診療」となります。

多焦点眼内レンズ



プレミアムレンズ《老視矯正眼内レンズ》

白内障のある方には、現在、次のような眼内レンズを使用して治療を行っています。通常の「単焦点眼内レンズ」か「多焦点(2重焦点)眼内レンズ」または「多焦点(3焦点)眼内レンズ」を選択していただく事ができます。

★多焦点(2重焦点)眼内レンズ mIOL

近くにも遠くにもピントが合う2重焦点(遠近両用)の眼内レンズです。当院で行う「多焦点(2重焦点)眼内レンズを用いた白内障手術」は「先進医療」として厚生労働省に承認されています。通常の単焦点眼内レンズと比べ、白内障手術後の生活におけるメガネの必要性が大きく減少します。多焦点眼内レンズの事をもっと知りたい方は当院スタッフまでお尋ねください。適応・費用・生命保険適応の点も含め、ご説明致します(DVD鑑賞(約10分)有)。

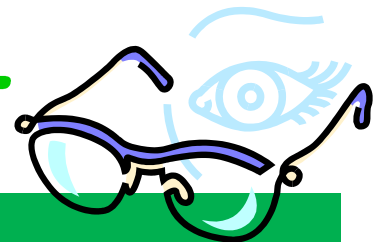
★多焦点(3重焦点)眼内レンズ tmiOL

現在ヨーロッパでは主流になりつつあるレンズです。遠近両用(2重焦点)の眼内レンズを更に進化させ、中間距離(50cm~1m程の距離)にもピントが合う3重焦点眼内レンズを導入しています。非常に良好な視機能が得られています。日本では先進医療として厚生労働省にまだ承認されておられないので術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む)3重焦点眼内レンズに関わる治療代は全て「自費診療」となります。

★アドオン(Add-On)追加挿入型 多焦点(遠近両用)眼内レンズ

既に白内障手術を受けられ、従来の単焦点眼内レンズを挿入されている方に更にもう1枚多焦点(2重焦点)眼内レンズ Add-On(ドイツ製)を追加挿入し遠方近方両方に焦点が合うようにすることができます。3重焦点眼内レンズと同様に、日本では先進医療として厚生労働省にまだ承認されておられないので Add-On に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

オルソケラトロジー



近視をコンタクトレンズで矯正する方法

ナイトレンズ(コンタクトレンズ)を就寝中に装用し角膜形状を矯正します。朝レンズを外し、昼間は裸眼視力を維持します。現在「キャンペーン価格」で試していただけます。詳しくはスタッフまでお問い合わせください。